

水害・地震・火災……都内に潜むキケンに向き合う

もしも、の時に、備えよう!



東京消防庁の防災館の中でも、特にさまざまな体験ができる本所防災館。指導員の方が案内するツアー方式で、水害・地震・火災を再現したコーナーを体験できます。今回は本所防災館の小島陽介館長に案内していただき、災害の疑似体験をしました。災害の恐ろしさを体で学び、身の安全を守る方法をたくさん教えてもらいました。

暴風雨

東京都内の3つの防災館のうち、本所防災館だけで体験できる「暴風雨体験」。レインコートと長靴を借りて、風速10m、雨量30mmの暴風雨を体験します。顔を上げることもできないほどの風雨の勢いに「前に進めない!」「音もすこかった!」と驚くジュニア記者。

準備が大切! 防災ポイント

- ☑ 天気予報を見て防災用品を早めに準備
- ☑ 注意報や警報が出たら外出は控える
- ☑ 外出している時は木の枝や看板などの飛来物に注意

視界が狭くなりました! 実際の台風では服もぬれて動きづらくなりそう



野口 優さん



消火器の放射時間は長くても十数秒。しっかり狙いを定めます

水が入った消火器を使う「消火体験」に挑戦。合言葉は「ピン、ホース、レバー」。この順番で手を掛ければ、消火器を正しく使えます。ジュニア記者は「ピンを抜くのが難しかった!」「これからは自信を持って使えそう」と話していました。最後に映像を見ておさらいします。

火災のキケン

家庭用消火器は15秒くらいしか使えないんですね!



林 佳一吏さん

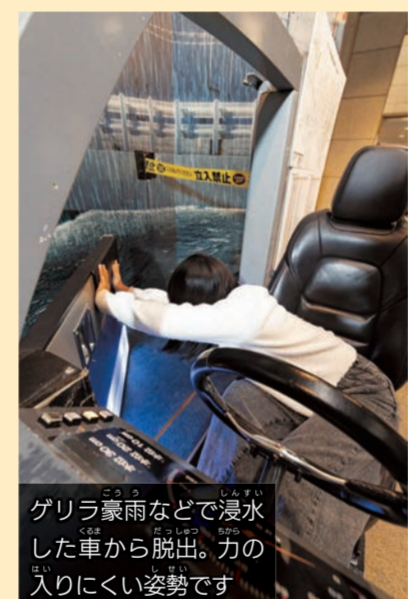


水位が少し上がるだけでこんなに重くなるとは思いませんでした!



渡邊 優志さん

水害のキケン



ゲリラ豪雨などで浸水した車から脱出。力の入りにくい姿勢です



20cmの水位になると子どもはもちろん大人も苦労するほどの重さ!

都市型水害

「都市型水害体験」では、豪雨などでの浸水による水圧で重くなった建物や車のドアを開ける体験ができます。水位が10cmから20cmに変わると、全身の体重をかけて開けるのがやっつです。たった10cmの水位差でドアの重さが大きく変わることを実感。

準備が大切! 防災ポイント

- ☑ 水があふれないように日ごろから側溝を掃除する
- ☑ 外出時は避難ルートを確認しておく
- ☑ 地下にいる時は水位が高くなる前に地上へ逃げる

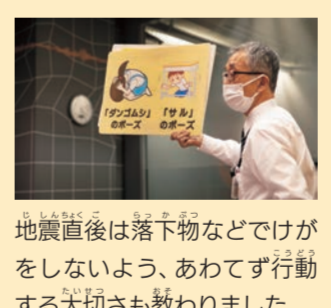
地震のキケン

強い揺れを体験して震災の被害の大きさを実感しました



坂寄 絢霞さん

「地震体験」では、震度6弱の揺れを20秒間体験。中学生以上は震度7の揺れも体験できます。隠れる場所がないところでは、頭を手で覆う「ダンゴムシのポーズ」で身を守ります。両手でテーブルや机の足をつかんで身を守る「サルのポーズ」も教えてもらいました。



地震直後は落下物などがをしないよう、あわてず行動する大切さも教わりました



とても立ち上がるのできない、強い揺れを体験しました

体験しておくことで落ち着いて行動できます

荒川区防災アプリを活用しよう!

災害時の情報収集に活用できるアプリです。白ごころから避難所の場所を確認しておくなど、身近な防災対策としてダウンロードしておきましょう。

主な機能

- 防災行政無線で放送された緊急情報の内容を文字と音声で確認できる
- 避難所などの開設状況や避難情報の発令状況を確認できる
- 防災マップなどを確認できる
- 交通・ライフライン、気象についての情報を確認できる

ダウンロード (無料)

Android用 iOS用

[問合せ] 防災課 内線497

もっともっと! 本所防災館

火事と救急の通報体験が行える「119 番通報コーナー」

「川の地域体験テーブル」で地形を見ながら水害の危険度を学ぶ

いちばん大切なのは自分の身を守ること

災害時に周りの人を助けることも大事ですが、皆さんはまず自分の身を守ることを最優先にしましょう。消防士は、災害時にはチームで動きます。皆さんも一人で無理に行動せず、大人や周りの人を呼んでください。



本所防災館



館長・小島 陽介さん

防災 O X クイズ

- Q1 どの災害も予測することができないので、事前に備えることは難しいです。
 - Q2 火事が起きたときは、自分で火を消すことよりも、避難を優先します。
 - Q3 外にいるときに地震が起きたら、ブロック塀などに近寄って身を守ります。
- 答えは4面にあります